

冬休み期間中は、子どもの飛び出しや路上での遊びが多くなります。スピードダウンを心掛けましょう

第3期区民講座のご案内

講座名	日 時	定員	受講料 教材費		受付日時
カリグラフィー講座 ペンを使い、手書きで美しい英文字のカードを、毎回ちがった技法で作ります	2月5日(水)、12日(水)、19日(水) 26日(水) 午後1時30分～3時30分	20人	2,300円	1,500円	1月22日(水) 午前10時～
やさしい中国語 はじめての方が対象です	2月6日(木)、13日(木)、20日(木) 27日(木) 3月6日(木)、13日(木) 午後1時30分～3時30分	20人	3,400円	500円	1月22日(水) 午前10時30分～
初めての手話講座 全くはじめての方が対象です	2月24日(月)、27日(木) 3月3日(月)、6日(木)、10日(月) 13日(木)、17日(月)、20日(木) 午前10時～正午	20人	3,900円	850円	2月10日(月) 午前9時30分～
パソコン初級「ワード」 初心者を対象に、ワープロソフト[Word]を使って、基礎から文書作成までを学びます	2月10日(月)、12日(水)、14日(金) 17日(月)、19日(水)、21日(金) 午後1時30分～3時30分	20人	3,400円	1,000円	2月3日(月) 午前10時～ (午前9時30分から整理券を配布し、10時の時点で定員を超えた場合は抽選となります。)
パソコン初級「エクセル」 初心者を対象に、表計算ソフト[Excel]を使って、数字入力や表作成を学びます	2月11日(祝)、13日(木)、15日(土) 18日(火)、20日(木)、22日(土) 午後1時30分～3時30分	20人	3,400円	1,000円	2月3日(月) 午前10時30分～ (午前10時から整理券を配布し、10時30分の時点で定員を超えた場合は抽選となります。)

▷会場 区民センター(南2西10)。

▷申込 上表の受付日時に、区民センター1階ギャラリーで受け付けます。お申し込みの際に、受講料・教材費を併せてお支払いください。受け付け開始時点で定員を超えた場合は、抽選になります。

▷対象 区内にお住まいかお勤めの、15歳以上の方(中学・高校生を除く)。

▷申込・詳細 区民センター運営委員会事務局 ☎(271)1100

「中学生の税についての作文」入賞者

市と札幌市納税貯蓄組合連合会が募集した「中学生の税についての作文」の入賞作品が決定し、中央区では次の7人が受賞しました。

●札幌市長賞

中央中2年
星野優子さん

●札幌市納税貯蓄組合連合会長賞

柏中1年
岡部麻里絵さん

柏中1年
新井舞子さん

柏中1年
佐々木希美さん

柏中1年
田中由貴さん

柏中1年
山下沙弥香さん

中央中3年
小林由香さん

「私にとっての税金」

星野 優子

普段何気なく使っている「税金」という言葉。私は、税金と一言で聞くと想像するのは、決まって自分の身近にある消費税のことです。その消費税に対して、私は二つの考えをもっていました。一つめは「私も一応納税しているのだから、社会に貢献しているな」という考えです。そして二つめは、最初の考えとは正反対で「自分とあまり関係がないのだから、損しているのではないか」という考えです。それは消費税が、3%から5%に上がったときに最も強く思っていたことでした。

しかし、この作文を通して税金について調べ、税金の知識が増えた現在の私は、関係がないと考えていたことが間違っていたんだという気づきと、税金についての驚きや興味であふれています。

調べてみると、まず税金というと全部で四十八種類に分かれており、大きく分けて「国税」と「地方税」、そして納税の方法について「直接税」と「間接税」があり、こんなに深い内容が「税金」という言葉にあったのかと驚きました。そして、私達の生活の身近にある多数のものが、税金でまかなわれていることが分か

りました。まず、私たちに一番関係が深いのは、教育費であると思います。毎年学年が上がるごとに、「今年も勉強がんばるぞ」というやる気を持たせてくれた教科書。それから、健康や生活を守るための医療費・雇用対策・どんどんきれいに、便利になっていく道路や上下水道などの公共事業。こんなにたくさん国民の生活を支えている税金は、とても重要なんだということがよく分かりますし、税金がなくては国民が幸せに、安全に暮らしていけないと思えます。

現在の私たちは学校に通え、机やいす、教科書と不自由なく過ごしています。このことは、納税者の方々のおかげだという感謝の気持ちを、忘れることなく生活していく事が大切だと思います。

これからは高齢化社会の時代になり、年金や介護サービスなどの費用が増え、さらに税金の必要性が高まってくると思います。そのためにも私達が納税者となる将来、現在支えられてきた分、恩返しの納税を責任をもって行いたいです。そして将来、より良い社会を築いていきたいです。